

## 平成22年度 福祉職場の労働環境及び満足度に関する調査報告書

1. 調査目的 本会福祉人材センター無料職業紹介所に求職登録し就職した職場の労働環境及び満足度の把握
2. 調査時期 平成22年4月～平成23年3月
3. 調査方法 調査票による郵送調査
4. 調査対象 本会福祉人材センター無料職業紹介所に求職登録をし、就職後3ヵ月経過した方(以下、「3ヵ月後」)、及び1年経過した方(以下、「1年後」)

### 5. 回答数・回収率

	対象者数	回答数	回収率
3ヵ月後	283	99	35.0
1年後	294	76	25.9

### 6. 調査結果の概要

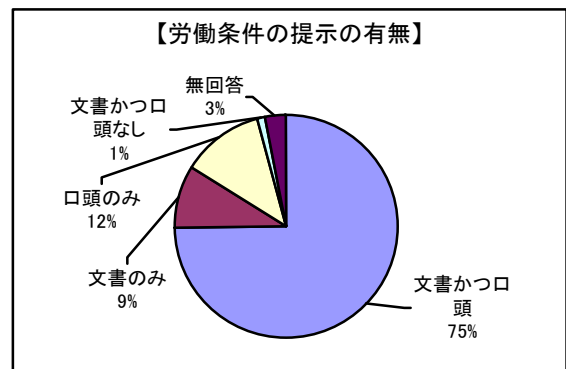
#### (1) 労働条件の提示の有無

##### ◎約84%が書面で提示している

労働基準法では明示しなければならない項目が定められており、労働契約の期間、就業の場所、従事する業務の内容、労働時間に関する事項、退職に関する事項については書面を交付することになっている。

労働条件を書面で提示していなかった割合は、H21年度は約20%だったがH22年度は約13%だった。

労働条件などでトラブルが発生しないように労働契約書を交わし、各職場の勤務実態について説明することが重要となる。

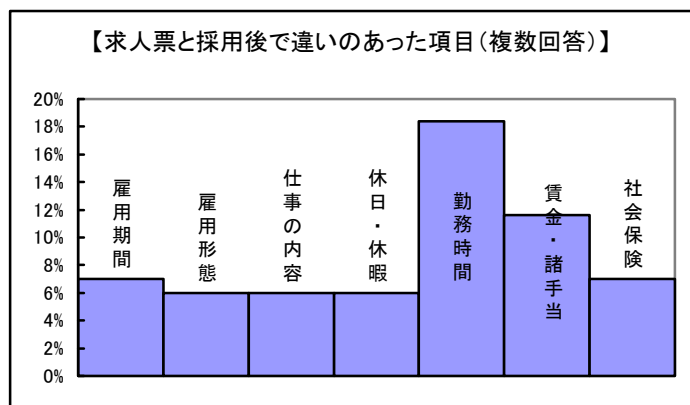


#### (2) 求人票の内容と採用後で違いのあった項目

##### ◎相違点が最も多い項目は「勤務時間」

「勤務時間」については、18.4%が求人票と相違点があると回答した。次いで「賃金・諸手当」という回答が多かった。

求人票や面接時などに、就業時間や時間外勤務の実態、給与や諸手当等の待遇面について、十分に説明しておく必要がある。



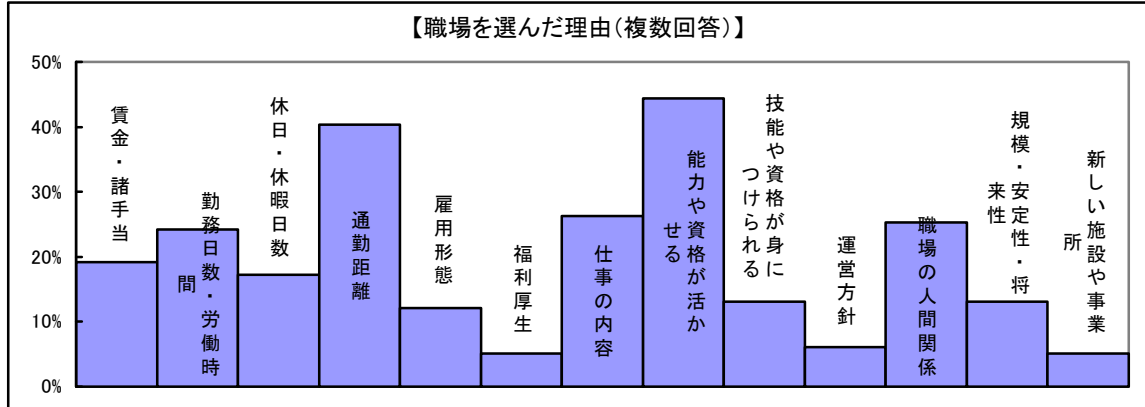
(3) 職場を選んだ理由

◎最も多いのは「能力や資格が活かせる」

職場を選ぶ際に、44.4%が「能力や資格が活かせる」ことを重視している。ほかに多いのは「通勤距離」「仕事の内容」「職場の人間関係」「勤務日数・労働時間」となっている。

専門性の高い仕事に対する意欲が高く、労働条件面では福利厚生や雇用形態よりも、通勤の利便性や仕事の内容、労働時間・日数を重視する割合が高くなっている。

また雇用形態別にみると、正規職員では「能力や資格が活かせる」、非正規職員・パートでは「通勤距離」を最も重視している。



(4) 職場に対する満足度

◎満足度の低い項目は「賃金・諸手当」

満足度の平均は、就職3ヵ月後、1年後それぞれ5点満点中3.5ポイント、3.4ポイントだった。3ヵ月後、1年後とも「賃金・諸手当」の満足度が最も低くなっている。

